

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 12 No 12

137号

平成16年12月1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

病院広報企画賞 受賞

11月12～13日の休診では、皆様には大変御迷惑をお掛けしました。お陰で、日本HIS研究会参加のため高知県へ行くことができました。ヘルスケア情報誌コンクール特別賞と、新設の病院広報企画賞のダブル受賞をしたので、紹介をかねて報告します。

参加の目的は、日本HIS研究会のヘルスケア情報誌コンクール(BHI賞)の受賞でした。BHI賞は、全国144誌が応募し、有名な病院では、日鋼記念病院(北海道)、日本赤十字医療センター(東京)、聖路加国際病院(東京)、新日鉄八幡記念病院(福岡)等も参加しています。今回の第4回の最優秀賞は、北斗病院(北海道帯広市)の「健康サプリメント誌プラザ」が受賞しました。当院の「かわむらこどもクリニックNEWS」も特別賞を頂くことになり参加してきました。大病院の広報誌はさすがで、ページ数も多く(平均16ページ)、専門の部署で作られるだけあって素晴らしいものばかりでした。当院のみすばらしい院内報が特別賞を頂けたのは、10年以上発行している継続性が高く評価されたのです。

今回の研究会にはもう一つ大きな目玉があり、病院広報企画賞が今回から初めて設定されました。この賞は次のように規定されています。「広報誌だけを審査するのではなく、病院広報活動を総合的にとらえてその取り組み姿勢や効果を評価するものです。言うまでもなく、広報誌を発行することは目的達成のための手段の一つであり、他の広報活動との相乗効果を含めてその目的がしっかりと認識、実践されて効果をあげているかどうかに焦点を当てて評価します。」。新設された病院広報企画賞には全国から7施設がエ

ントリーし、NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長の辻本好子氏を審査委員長とした委員会によって、書類による事前審査と広報事例発表会により審査されました。当院では「理念をカタ



チにするために」というテーマで、開業から「お母さんの不安・心配の解消」の理念を掲げた経緯や、理念の実践のための院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」、「かわむらこどもクリニックHOMEPAGE」、育児サークル「お母さんクラブ」、かかりつけ患者さん専用メール、医学生実習の受け入れなどの活動を発表してきました。

情報誌のコンクールの結果は出発する前にすでに明らかになっていましたが、病院広報企画賞の発表は翌日の懇親会まで伏せられていました。広報事例発表会にエントリーしている施設には大きな病院も多く、多彩な活動が行われていて、発表の時点ではかなり圧倒されました。毎月接遇の講演会を行ったり、患者さんのための勉強会を年間50回以上も開催したり、病院祭には数千人も参加している施設もありました。気持ちとしては、大病院にはかなわないと思っておりました。懇親会の席上ファンファーレと共に発表され、なんと当院が病院広報企画賞を獲得することになりました。今回、第1回目の記念すべき賞であること、並みいる大病院を退けて小さなクリニックが受賞できたことに大きな喜びを感じて帰ってきました。賞状と賞金まで頂くことができ、休診までしてわざわざ高知まで出向いた甲斐がありました。「継続は力なり」という言葉を信じて続けてきた長年の努力が認められたこと、大変嬉しく思っています。

このような賞をいただけることは、「かわむらこどもクリニックNEWS」を愛読して頂いている患者さん、「お母さんクラブ」の会員の皆さん、メールをくださる方々だけではなく、かかりつけの患者さんやスタッフを含め、多くの人たちのお陰と思っています。今回の受賞により、多くの方々に支えられていることを、改めて感じました。ありがとうございました。



・年末年始休暇
12月30日(木)～1月3日(月)
休診となります。よろしく、
ご協力をお願い致します。

・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30～



麻疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻疹のワクチンを』

読者の広場

先月は17通のメールを頂きました。まずは泉区の泉さんからです。当院の栄養相談を担当している栄養士さんです。「今日もお世話になりました。康太は熱の割に元気があるので少し安心しています。今日も、先生には丁寧に診察して頂き、安心して帰宅することができました。そういえば、育児相談にきたおかあさんと「たまに他の病院にかかると、かわむら先生のすばらしさがよくわかる！」という話題になりましたよ。やはり私だけじゃなかった！とうれしくなりました。すごくお忙しいようですが(なんだか先生目が充血していたようなきが...)高知お気を付けて行ってください!」。その頃からインフルエンザワクチンが多く、研究会参加の準備は忙しい毎日でした。他にも様々な雑用、毎月3遍の執筆とラジオまであります。御心配頂き、ありがとうございます。続いては、2ヶ月連続登場の宮城野区の板橋さんからです。「今日はありがとうございました。昨日仙台に戻って来てさっそく行かせていただきました。なんか安心しますね!川村先生のところは、看護婦さんたちの優しさ、先生のわかりやすい説明。やっぱり良い病院です!凜空も人見知りがなくなってきたのでみなさんと仲良くなれるといいです。ところで今日頂いたかわむらクリニックニュースみて驚きました!まさか載るとは思いませんでした(;´;)読みながらニコニコしてしまいました!。有難うございます!。あと気になったのが転居ではありませんよ!。まだまだお世話になりますのでよろしくをお願いします!」。ゴメンナサイ。転居したと紹介してしまいました。誤解を説くこととお詫びの印として、今月も掲載してもらいました。お誉めのメールでしたが、偶然にも同じような内容でした。他の病院へかかると、良さがわかるクリニック。そんなクリニックを目指していきます。ありがとうございました。



TV取材の協力と放映のお知らせ

12月7日(火) 13:30頃から「インフルエンザ」について、東北放送のTV取材が入ります。インタビューなども含め、皆さまに御迷惑をおかけすることもあります。よろしく、御協力お願い致します。
尚放送は、12月8日(水) 東北放送、18:19から『ニュースの森TBC』の予定です。是非、ご覧になってみてください。

新潟県中越地震災害義援金の報告

ご協力頂きました、義援金は16,437円になりました。この金額に加えて、今回病院広報企画賞の賞金の一部を加えて、届けたいと思います。皆様の善意に感謝致します。ほんとうに、ご協力ありがとうございました。かわむらこどもクリニック、患者有志一同として、お送りさせていただきます。

重要

BCGに関する緊急のお知らせ

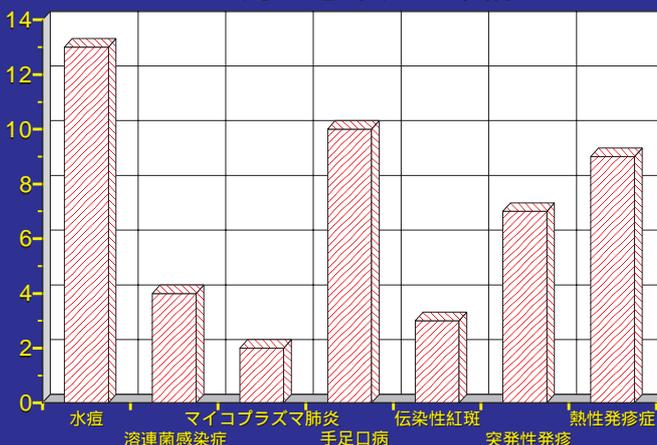
以前もNEWSでお知らせしましたが、結核予防法が改正されます。これまで、BCG接種は、生後4歳未満の乳幼児を対象に行われてきましたが、乳幼児期の重症結核等を早期に予防する観点から、**平成17年4月1日から生後6か月未満の乳児が対象となります。**

つきましては、**生後3か月以上4歳未満で、まだBCG接種を受けていないお子さんは、平成17年3月31日まで必ず受けるようにして下さい。**なお、平成17年4月1日以後に生後6か月以上の方がBCG接種をする場合は法定接種でないため自費(正式ではありませんが、5千円程度の予定)となります。

対象者	生後3か月以上4歳未満で、まだBCG接種を受けていない乳幼児
会場及び実施月日	各区役所、結核予防会等で実施(実施月日は、院内掲示およびスタッフで確認ください。)
持ち物	母子健康手帳、母子健康手帳別冊
費用	無料

急性灰白髄炎(ポリオ)、廃しん(はしか)などの生ワクチンの予防接種を受けている乳幼児は4週間以上、その他の予防接種については1週間以上の間隔をあける必要があります。予防接種の順番や、詳しい内容等に関しては、遠慮なく看護スタッフにおたずねください。

11月の感染症の集計



現在のところインフルエンザの報告はなく、全国的にも大きな流行はありません。一時減少していた水痘が多くなっています。他には手足口病も目立っています。高熱と咳がひどい気管支炎が多く、喘息の悪化も見られます。また肺炎もあり、マイコプラズマ肺炎も比較的多く見られています。

編集後記

今年もあと残り1ヶ月になってしまいました。本日に月日の経つのは早いものです。毎年何か新しいことと考えていますが、今回の受賞で実現しました。表彰を受けるのは、日立から帰る時に市長さんから感謝状を頂いて依頼11年振りです。来年は、何かあるでしょうか? 皆さん、良いお年を!!。



東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「凜空のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに!!